

プレスリリース

報道関係者各位

2010年7月16日

環境エネルギー政策研究所(ISEP)

『世界自然エネルギー白書2010年版』公表のお知らせ

REN21(21世紀のための自然エネルギー政策ネットワーク、本部：フランス・パリ)は、世界の自然エネルギーに関する最新状況を取りまとめた「世界自然エネルギー白書2010」"Renewables 2010 Global Status Report, GSR2010"を7月15日に公表しました。これは、世界100カ国以上の研究者の報告に基づき、REN21が毎年発行しているレポートです。先進国、途上国を問わず、豊富なデータを通して、世界の自然エネルギーの趨勢が把握できる資料ですので、ぜひご一読ください。

当研究所は、飯田哲也所長がREN21の理事を務め、エリック・マーティノー研究部長が本レポートの企画・編集・全体取りまとめを行うなど、本レポートの中心的な役割を担いました。今後、このレポートの日本語版も公表する予定です。

以下、本報告の主要トピックです。

- ・ 2009年は、金融危機・原油価格低迷・気候政策の停滞といった逆風にも関わらず、世界の自然エネルギーは驚異的な成長を遂げた
- ・ 世界の太陽光発電は前年比53%増、風力発電は同32%増、太陽熱温水システムが同21%増、地熱が同4%増、水力が同3%増であった。
- ・ 世界の自然エネルギーは8000万kWも伸び、そのうち中国が3700万kWを占めた。
- ・ 欧州と米国では、自然エネルギーが最も拡大した電源となり、特に欧州では新設電源の60%を占めた。
- ・ 風力発電は中国で驚異的に成長し、1380万kW増とほぼ前年比倍増となった。
- ・ 太陽光発電は、ドイツで驚異的に成長し、380万kW増と日本の8倍も拡大した。
- ・ バイオマスは各国で普及が進み、とくにスウェーデンでは石油を抜いて、最大の一次エネルギー源となった。
- ・ バイオ燃料は、世界のガソリン供給量の5%を占めた。
- ・ 太陽光発電は、米国のFirst Solar社が世界で初めて年100万kWの生産を突破した。
- ・ 自然エネルギー目標値を持つ国は、45カ国(2005年)から83カ国に増加。
- ・ 少なくとも83カ国が政策措置を持つが、大半が固定価格制度(FIT)を導入。2010年までに少なくとも50カ国・25地域がFITを導入した。

“Renewables 2010 Global Status Report”は以下から全文(英文)がダウンロードできます。

<http://www.ren21.net/globalstatusreport/g2010.asp>

REN21からのプレスリリース(英文)はこちらです。

[http://www.ren21.net/globalstatusreport/REN21\\_GSR\\_2010\\_Press\\_Release.pdf](http://www.ren21.net/globalstatusreport/REN21_GSR_2010_Press_Release.pdf)

【このプレスリリースに関するお問い合わせはこちら】

特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所 (ISEP)

E-mail: [info01@isep.or.jp](mailto:info01@isep.or.jp) URL: <http://www.isep.or.jp/>

TEL: 03-5318-3331, FAX:03-3319-0330

担当: 氏家、松原